

はじめに

本書は『英語長文読解の王道 パラグラフリーディングのストラテジー① 読み方・解き方編』をすでに読破した受験生が、より実践的な問題演習を行うために書かれたものです。英文を正確に速く読むための方法論である「パラグラフリーディング」と、問題を確実に能率的に解くための方法論である「解法ストラテジー」をベースにして本編のすべての解説を行っていますから、この2つの方法論に関する理解は必要不可欠です。もしまだ『読み方・解き方編』を読んでいない皆さんには、まず『読み方・解き方編』を読破してから本書を使うことを強く勧めます。

英文を正確に速く読むことの難しさは、「豊かな語い力」や「正確な文法力」だけでなく、「論理的な読解力」まで要求される点にあります。本書は特に「論理的な読解力」の養成に主眼をおいて、本番の試験で合格点が取れる実力をつけるために以下のような工夫をこらしました。

(1) 本文をどのように読めばよいのかということの詳細に解説

ほとんどの英文読解の問題集は、語いの意味や構文の解説が載っているだけで本文の読み方に関する解説は皆無です。本書はすべての英文に関して「パラグラフリーディング解説」というパートを設けて、「本文をどのように読めばよいか」ということを詳しく説明しています。この「パラグラフリーディング解説」を熟読することによって、「自分がどこで読み間違えたか」ということが明確になり、他の英文でも誤読を減らすことにつながるのです。

(2) 本文の理解度を一目で自己検証できる論理チャートを掲載

「ある英文が読めた！」という実感を得るためには、その英文の表面的な「日本語訳」ができるだけでは不十分です。「英文のテーマ」や「筆者の主張」や「全体の論理展開」を理解できて初めて「その英文が読めた！」と言えるのです。本書は英文をどのくらい正確に読めたかを読者が自分で検証できるように、すべての英文にパラグラフの展開が一目でわかる「論理チャート」をつけています。自分の理解度を「論理チャート」と比べることによって、「どの程度まで理解できたか」という到達度が測れることになるのです。

【1】

◎問題は別冊 p9

■パラグラフリーディング解説■

第①文は「我々は型通りの形や色を唯一絶対と考えがち」という内容で、その具体例は第②文に「星は星形と考える子供」、第③文に「空は青色、草は緑色と主張する人」とある。ここは典型的な「抽象⇒具体」の論理展開パターン。第④文の **but** (逆接マーカー) に注目して、「色に対する先入観を捨てて世界を見れば、世界が驚くべき色で満ちていることに気づく」が筆者のイタイコトであり、「色に対する先入観を捨てる」ことを **and** の後で、「別の惑星から地球に到着して初めて世界を見る」とたとえていることに注意しよう。この比喩を第⑤文の *such a voyage of discovery* は受けているので、第⑤文は「芸術家も色に対する先入観を捨てて世界を見ることがある」という内容になる。それを第⑥文ではさらに具体的に「芸術家は世界を新たな視点で眺め、型通りの考えや先入観を捨てようとする」と述べている。第⑦文では **but** (逆接マーカー) の後の内容に焦点を当てて読むと、「先入観を捨てた芸術家は刺激的な作品を創り出す」とあり、さらに第⑧文の「芸術家は新しい自然美を教えてくれる」、第⑨文の「芸術家の視点を持てば日常的な風景も胸躍る冒険になる」とあるので、型通りの見方を捨てた芸術家を筆者はプラスイメージで評価していることが読みとれたら OK だ。

■論理チャート■

我々は型通りの形や色を唯一絶対と考えがち

|| 具体例

星は星形と考える子供、空は青色で草は緑色と主張する人

⇓ **but** (逆接マーカー)

先入観を捨てれば世界は驚きの色に満ちていることに気づく

= 芸術家も型通りの考えと先入観を捨て世界を新たな視点で眺める

- ・ 先入観を捨てた芸術家は刺激的な作品を創り出す
- ・ 芸術家は新しい自然美を教えてくれる
- ・ 芸術家の視点を持てば日常的な風景も胸躍る冒険になる

■解答■

(1) (b) (2) (c) (3) (d) (4) (d) (5) (c) (6) (d)

人は数時間以内に死ぬだろう」となり文意も成立する。

知識の整理 接続詞の後に「主語+be動詞」が省略されるパターン

接続詞の後に「主語+be動詞」が省略される場合がある。以下の2つのパターンを区別して考えること。

(1) 主節と一致した主語とbe動詞の省略

Though tired, she went on with her work.

(彼女は疲れていたけれど仕事を続けた)

⇒ Though (she was) tired, she went on with her work.

接続詞 though の後に主語と動詞がないことから省略を見抜く。この場合、主節の主語(この場合は she)と be 動詞(この場合時刻が過去だから was)を補うのが原則。

(2) 主節の内容を指す it と be 動詞の省略

I'll check the list again if possible. (できればリストをもう一度チェックしよう)

⇒ I'll check the list again if (it is) possible.

接続詞の if の後に主語と動詞がないことから省略を見抜く。ただしこの場合は、

(1) で解説した主節の主語と be 動詞の省略ではなく、前出の主節文を指す it と be 動詞の省略である。

接続詞の後に「主語+be動詞」が省略されると以下の5パターンになる。

- (1) 接続詞+**名詞**: when a boy「少年だった頃」
- (2) 接続詞+**形容詞**: when young「若かった頃」
- (3) 接続詞+**現在分詞**: when walking「歩いていたとき」
- (4) 接続詞+**過去分詞**: when injured「けがしたとき」
- (5) 接続詞+**前置詞+名詞**: when in Japan「日本にいた頃」

(二) 解答 (c)

空所の後にはコンマをはさんで文が来ているので副詞が入ることになり、正解は(c) Instead か(d) Then。Instead は「その代わりに」という意味で、前後が対照的な意味になることに注意しよう。¶5 第②文は「コブラは人と戦うよりもむしろ人から逃げる」という内容で、第③文は「コブラは蛙、魚、鳥、小さな哺乳動物などを襲い、それを食べる」という対照的な内容なので正解は(c) Instead になる。ここでは以下の対照的な論理関係を見抜くことがポイント。

第②文「コブラは人間は襲わない・むしろ人間から逃げる」

⇨ **Instead** (その代わり)

第③文「コブラは小動物を襲う」

【 解法ストラテジーの一覧】

(1) 空所補充・バラフレーズ問題の解法ストラテジー 1

空所補充・バラフレーズ問題の解法ストラテジー 1

空所や下線部の品詞や語法に着目しよう！

空所補充・バラフレーズ問題の解法ストラテジー 2

「抽象⇒具体」の関係を利用せよ！

空所補充・バラフレーズ問題の解法ストラテジー 3

論理マーカーに着目せよ！

空所補充・バラフレーズ問題の解法ストラテジー 4

プラスイメージ・マイナスイメージを意識せよ！

(2) 内容一致問題の解法ストラテジー

内容一致問題の解法ストラテジー 1

問題文の先読みのパターンを整理せよ！

内容一致問題の解法ストラテジー 2

サーチング&マーキングを徹底せよ！

内容一致問題の解法ストラテジー 3

リーズニングのパターンを知れ！

リーズニングパターン 1 出題者が選択肢の○×をどう作っているかを知れ！

リーズニングパターン 2 消去法を活用しよう！

消去法のコツ 1 パラグラフごとの筆者のイイタイコトをつかみ利用せよ！

消去法のコツ 2 プラスイメージ・マイナスイメージを積極的に利用せよ！

消去法のコツ 3 セットの選択肢に注意せよ！

消去法のコツ 4 常識も活用しながら読んで解け！

リーズニングパターン 3 否定表現に注意せよ！

リーズニングパターン 4 因果関係の逆転に注意せよ！

リーズニングパターン 5 数量表現に注意せよ！

リーズニングパターン 6 比較表現を利用した紛らわしい選択肢に注意せよ！